

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-20-00
基本事業：	03	国際交流の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	国際交流が推進されていると思う市民の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
本市及び近郊在住の外国人		学習者（様々な国の外国人）に対応したプログラム（カリキュラム）を基本に、スタッフ（ボランティア）による日本語の学習を進める。 また、スタッフのスキルアップのため、外部講師を招いての研修を実施。  <b>事業概要</b> 開催日時：毎週火曜日10時から12時まで。 （ 祝日、第5週火曜日、年末年始、お盆を除く） 開催場所：生涯学習センター視聴覚室 定員：20人/1回 利用料金：100円/1回 方法：マンツーマンを基本 備考：平成30年度登録者29人				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
本市で暮らしている外国人が、日常生活を営むうえで必要な日本語力を習得するとともに、日本語教室を通じて地域の人との交流、対話を重ねることで相互理解を深め、すべての人にとって暮らしやすいまちとなることを目的とする。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
日本語学習の開催回数	回	38	41	41	42			41
平均受講者数	人	6	9	10	11			10

5. コスト								
事業費	計	千円	130	103	119	120		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	130	103	119	120		
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	930	912	926	120			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	平均受講者数が6人から9人へと増加しており、広報活動に力を入れた事が、増加要因の一つであると考えている。また、個々のレベルや要望に対し、日本語を教えるだけでなく、日本の風習を伝えるため、七夕やお花見などのイベントを継続的に企画し、外国人が地域に溶け込みやすくなるための学習を行うことで、成果はあがっているものと捉えています。							
どちらかといえばあがっている								
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	現スタッフ（ボランティア）の高齢化に伴い、体調不良や諸事情による休みが増えており、スタッフの確保が課題となっている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

成果指標を日本語学習の開催回数から、学習者等へのアンケートによる満足度に変更する。	
---	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
本市及び近郊在住の外国人の増加に伴い、日常生活等に欠かせない日本語習得のニーズが予想されるとともに、日本語を教えるスタッフ（ボランティア）の確保ができたことから、開設の運びとなった。（平成25年4月開設）	対応するスタッフ数から、1回の学習者（外国人）数を20名を限度とし、学習生の登録制度により、スムーズな教室運営を行っている。